
月季物語

ゆきけ氏

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

月季物語

【Nコード】

N6300Y

【作者名】

ゆきけ氏

【あらすじ】

俺は死んだ両親の後を追って死んだ・はずだった
きずけば俺は女になって異世界に転生していた！

プロローグ（前書き）

初投稿です。見苦しいところもありますが暖かい目で見守ってください。

プロローグ

「ここは、どこだ・・・？」

月夜見 終 つくよみ しゅう は何も無い真っ白な世界でひとり
呟いた

8月14日、今日、俺の家族の全員が死んだ

父の月夜見 秋人 つくよみ あきひと は、家を自分と共に爆破
したからだそうだ

幸いにも俺はその場にいなかった

父がなぜそんなことをしたのかわからないが明らかに父は狂ってる
俺の家は、一言で言うところ平和そのものだった・・・

それを父は壊した・・・。

俺は両親の後を追ってマンションの屋上から飛び降り自殺した・・・
はずだった

俺は今見渡す限り真っ白なところになぜかいる

「おゝい」

いきなり声が聞こえた俺はまた辺りを見渡す

するとさっきまで何もなかったところに人がいた

10歳くらいの顔立ちで髪は腰まで落としていた 所謂、幼女って
やつだ

「誰だお前」

「神サマ」。てか、この状況でパニックにないなんてあの人の子だ
けはあるね」

「神サマ？何を言っているんだ？」

「まあ、そんなことはどうでもいいの。君にはいきなりだけど異世
界にいつてもらうよ。赤ん坊からスタートするから頑張って」。

ふざけた口調でその自称「神」は異世界に行つてこいとか言つてやる

「お前何言つてんの？お前バカなの？」

自称「神」は頬を少し膨らませ

「バカつていったほうがバカなんだ」。

それに行かないなら元の世界に戻つてもらふよ？

と言つても元の世界の君は死んでるから戻つても死ぬただけだね」

「それじゃあ行くしか選択肢は何じゃないか！」

この自称「神」ふざけている出てきていきなり自分は神だの、異世界に行けだの本当にふざけている

でも・・異世界つてのは面白そうだ・・

「よし。面白そうだから行つてやろうじゃないか。」

自称「神」は笑顔で

「お、ノリがいいねーじゃあ行つてらっしゃい。後、私の趣味で異世界ではアンタは女だからね」

「なぜ女？」

「うるさい。つべこべ言わずに行つてこい」

こうして俺の異世界での物語が始まった・・・

プロローグ（後書き）

駄文ですいません

二回目の赤ん坊生活（前書き）

今回も暖かい目で見守ってください。

二回目の赤ん坊生活

なんだかんだで俺は今赤ん坊になっている。

しかしなんかあれだね。赤ん坊って不便だね。

なかなか自由に動けないし、すぐ疲れるし、

上手く喋れないしね。

けど・・・一番の問題は知らない人のその・・・あれだ。

知らない人もの母乳を飲む事だ。

知らない人の母乳も飲むというのはスッゲー恥ずかしい。考えよう
によつては嬉しいかもしれないが・・・

あと俺の母親は結構な美人だ父親のほうも美形だ。

あゝそれにしても暇だ。暇すぎる

とりあえず今日は寝よう

なんだか一日のほとんど寝てるなゝ今の俺・・・

俺はまた真っ白だけが広がる世界に来ていた。

そこにはまた神がいた。

「おひさゝ何日ぶりだっけ？」

俺も何か喋ろうとしたが思ったように言葉が出ない・・・不便だ

「そういえば今は喋れなかったんだっけ？まあそんなどうでも良
い事は置いといて（つゝ）っ本題に入ろうか。」

相変わらずふざけた喋り方だ。

「またいきなりだけどこの世界の説明をするね。この世界はRPG
とかのゲームでお馴染みの剣と魔法の世界なんだ・・・あと超能力
とかもあるよ。」

神の話を聞いて改めておかしい世界に行かされたと思う。

「他にもいろいろあるけど、面倒くさいから君の脳のなかにこの世
界に関しての事を記録しておくね。」

あと、君にはいわゆるチート能力的な能力を与えておいたからね。
チート能力についても君の脳の中に記憶しておくね。じゃ。そう
ゆうことでバイバイ」

おいおい随分とテキトーじゃねえか神サマ

きずくと俺はベッドの上だった。

なぜか知らんが俺はこの世界について知っていた。これが神の言っ
ていた俺の脳にこの世界のことを記憶するっていうことなんだな
俺は一人で関心した。

さてともう一度寝るか・・

二回目の赤ん坊生活（後書き）

本当に駄文ですいません。 m ((m

この世界と能力について（前書き）

意味が解らなかつたらすいません

この世界と能力について

とりあえず神が教えてくれたこの世界についての事や俺の能力についてを説明しておこう。

この世界は、神が言ったとおり、RPGでお馴染み魔法や魔術と
かついでに超能力とか色々ある。

魔法や魔術、超能力は努力しだいで誰だって覚えられる。だが、才能みたいな感じで、生まれつき備わっている能力もある。その生まれつき備わっている能力はその人にしか使えない・簡単に言っていると能力には、その人しか使えない能力があるということだ。

ちなみに俺の能力は陰暦・・睦月、如月、弥生、卯月、皐月、水無月、文月、葉月、長月、神無月、霜月、師走。などの昔の月の名前を言うとその月によって能力が発動するというものである。・・ザックリ言くと俺は12個の能力を持っていて、その能力を発動するには、昔の月の名前を言う。というものである。

俺は、この能力に名前がなかったので月^{げつき}季と呼ぶことにした。

この世界にはこれまたRPGのようにこの世界にはモンスター、魔獣、魔物、神獣、などもある。

そしてそれらを従える魔王と呼ばれる者もある・・

そして俺のように異世界から転生してきた奴も居るらしい。

なんでも俺ら転生者は魔王を殺すため、色々な神によって転生されたいらしい

所謂、勇者ってやつだ。

勇者はそれぞれ違う能力を使いたい。

俺とは別の勇者達もいきなり異世界に転生されて迷惑しているだろうな・・・

眠たくなってきたな・・・
さて今日はもう寝るか。

この世界と能力について（後書き）

本当に駄文ですいません

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6300y/>

月季物語

2011年11月21日12時04分発行